

平成 29 年度埼玉県オハイオ州スカラシップ  
機械工学インターンシップコース 11 月レポート  
容赦のない発熱 / 夜の底

兩野 暉

「容赦のない発熱」

Thanksgiving の長期休暇は楽しみながら苦しみました。

アメリカの 11 月には Thanksgiving という祝日があります。この祝日は、500 年程前にヨーロッパからアメリカに渡ってきた開拓者が関係しています。アメリカで暮らしていく知識をネイティブアメリカンから教えてもらった開拓者は、感謝の気持ちとして、夕食をネイティブアメリカンに御馳走しました。この取り組みを当時のアメリカ大統領のリンカーンが毎年行事として取り決めたのです。つまり Thanksgiving はネイティブアメリカンへ感謝を表すための日なのです。



Michael 君と彼のお父さんと一緒に

私は 11 月 22 日から 26 日までの 5 日間をアメリカ人の友人である Michael 君の自宅にホームステイさせてもらいました。それには 2 つの理由があります。

まずアメリカ文化である Thanksgiving を実際に体験したかったためです。私は Thanksgiving について ELL センターの Brenda 先生に話を伺ったのですが、発祥の由来は理解できたものの、実際にアメリカ人の方々が何を行うのか分かりませんでした。そのためホームステイをさせてもらうこと

で、理解に努めようと考えたのです。2 つ目は英語だけの生活に身を置きたかったためです。先月のレポートで述べたように、私は Step2 へと飛び込むことに決めました。それは「アメリカ人同士の英語を聞き取る」という努力をすることでした。そのため、この Thanksgiving は Michael 君の自宅にホームステイさせてもらい、5 日間英語漬けの生活に身を置くことに決めたのです。

Thanksgiving break Day 1 (2017/11/22)

Michael 君の自宅はリマという町にあります。私が滞在しているフィンドレーから車でハイウェイを使って 1 時間程の所にあります。彼にフィンドレーまで迎えに来てもらい、車で自宅に向かいました。アメリカ人と 2 人きりでドライブというのは大変でした。特に彼はよく喋り、早口な上に難しい文法を使うので必死に耳を傾けて英語を聞き取ろうとしました。しかし理解できない内容も

多かったです。その様な時は私が無理なく話せる日常的な会話に話を変えて話し続けました。

彼の自宅に着くと、彼のご両親がとても温かく出迎えてくれました。私は簡単に自己紹介を済ませ、Michael 君と一緒にチェスと将棋をして楽しい時間を過ごしました。私はチェスのルールがわからなかったので Michael 君にルールを尋ね、彼は将棋のルールがわからなかったため、私が彼にルールを教えました。勝負の結果、チェスでは私が勝ち、将棋では Michael 君が勝利しました。言語の壁を越えた戦いだったので非常に楽しめました。



Michael 君に敗れた将棋対決

そんな僕たちの対決を見ていた Michael 君のお母さんが私たちの隣に座り、会話に加わりました。しかし私は少しだけ人見知りを発揮してしまい、何を話せばいいのかわからなくなり、しどろもどろしてしまいました。そうすると彼のお母さんが「私はここにいない方がいいかもしれないわね。」と言い、立ち去ってしまいました。この時は非常に残念なことをしてしまったと、今では後悔しています。

### Thanksgiving break Day 2 (2017/11/23)

ホームステイ 2 日目は Michael 君の親戚の方々が Michael 君の自宅に集まりました。皆さんそれぞれの家で作ってきた御馳走を持ち寄り、食卓を囲みました。ターキー、ビーフ、ポテト、コーンやフルーツ、もちろんコーラも並ぶとても豪華な食事でした。



Thanksgiving 前の超高級焼きそばの調理練習

私はせっかく日本人としてホームステイさせて頂いているので、何か日本料理を披露したいと Thanksgiving 前に考えていました。そこで日本人の友人に相談し、焼きそばを作ることにしました。フィンドレー大学の近くにあるアジアマーケットに行き、たった3袋で850円もする超高級焼きそばを購入し、焼きそばを作る練習をしていたのです。そして、ホームステイ

2日目の午前中に Michael 君と一緒に焼きそばを作り、皆さんに食べてもらいました。その評判は非常に良かったです。そのおかげで焼きそばの話題から、日本料理の話題、そして日本の話題へと話が広がっていき、沢山日本の事について話すことが出来ました。初日に比べ、私は積極的に話をしました！

昼食の後に皆さんと一緒にアメリカンフットボールを見ている時に Michael 君のお姉さん夫婦から嬉しい言葉を頂きました。Michael 君のお姉さんのご主人はメキシコ人です。お二人が付き合っていた当初は、ご主人は全く英語を話せなかったそうです。僕が英語を話す事に少し自信が無いことを相談すると、ご夫婦は僕に「Akiraは私たちとコミュニケーションが取れている。もっと自信をもって！」と励ましてくれました。この時、嬉しさと少しの照れくささから、英語を使ってもっと会話をしたいと考えるようになりました。

### Thanksgiving break Day 3 (2017/11/24)

恐らくこの日が Thanksgiving の休暇中に最も頭を使って会話をしました。Michael 君の友人である Alexzander 君が私を彼の家に招待してくれました。Alexzander 君は日本語に関心があり、日本人である私にとっても興味を示してくれました。

お互いの親交を深めるために彼がボードゲームを一緒にやることを提案してくれました。これは敵陣からポイントを多くとり、獲得したポイントを競い合うゲームです。まず、Alexzander 君がゲームのルール説明をしてくれましたが、私は驚くほどに理解が出来なかつたです。どうやったらゲームをクリアできるか



Alexzander 君（奥中央）とトラウマのボードゲーム

程度は分かったのですが、その過程にある細かなルールについては一切わかりませんでした。説明の途中から睡魔が襲ってくる程、理解が出来なかつたのです。また、このボードゲームには自分のコマを動かすマス目が用意されており、1マス進むごとにイベントが発生します。そのイベントは敵陣のモンスターと自分のモンスターで戦い合うというものです。各モンスターには特殊能力が与えられています。私はこのモンスターたちの特殊能力を全く理解することが出来ませんでした。そのため、私のターンになると皆に手持ちのモンスターを見せ、どのモンスターが敵のモンスターに対して1番効果的かを毎回尋ねていま

した。結局、私は 1 番ポイントを取ることが出来ずに負けてしまいました。本当にこのボードゲームは大変でした。

ボードゲームの後に Alexzander 君と日本の歌について話しました。彼はリズム感の良い歌が好きで、「千本桜」という歌を知っているか私に尋ねてきました。この歌は日本では非常に有名な歌で、もちろん私は知っていました。知っていることを彼に伝えると、英訳してほしいとお願いされました。その時の正直な気持ちとしては「嘘だろ、何を言っているんだ。」と思いましたが、せっかくの機会なので、その場で頭をフル回転させて英訳しました。恐らく、ずさんな英語で訳していたと考えられますが、彼のために必死で日本の歌を英訳しました。

#### Thanksgiving break Day 4 (2017/11/25)

ホームステイ 4 日目ともなると、だんだんと自然に自分の気持ちを伝えることが出来るようになり、Michael 君のご両親ともコミュニケーションも多く取れるようになりました。

この日は、彼のお父さんの職場を体験させて頂きました。彼のお父さんは警察官です。私は Michael 君と彼のお父さんと一緒に警察署に行き、あらゆる施設の説明を受けました。911 番を受け取るオペレーター室、鑑別所、留置所、会議室や警察署内であった発砲事件の現場であるトイレまで見せて頂きました。また警察署に併設されている裁判所も案内してもらい、裁判官が座る椅子に特別に座らせていただきました。



椅子に座るだけで優越感に浸れる青二才な私

さらに警察署の地下にあるシューティングルームで実際に拳銃を撃たせてもらいました。Michael 君のお父さんから拳銃の発砲の仕組み、拳銃の扱い方や体の構え方、狙いの定め方について教えてもらった後、実際に対人に似せた紙に向かって、Michael 君のお父さんが拳銃を撃って見せてくれました。撃鉄を起こし、硬い引き金をいとも簡単に引き、一瞬にして轟音と共に 6 発程顔面に撃ち込みました。私はあまりの銃声に仰け反ってしまいました。その時、Michael 君のお父さんは非常に恐ろしく目に映り、命の危険性を感じました。そして絶対にアメリカで警察官に逆らわないようにしようと決心しました。



私も 50 発程発砲しました。私は「狙いを定める競技」である弓道の日本チャンピオンだった経験があり、発砲した銃弾のほとんどを顔面や急所に命中させることに成功しました。

引き金を引くことに怖れながら放った一発

#### Thanksgiving break Day 5 (2017/11/26)

ホームステイの最終日は、Michael 君と彼のお父さんと一緒に教会に行きました。私はアメリカに来てから 3 回ほど教会に行き、その文化を経験しています。以前、言語パートナーである Anna さんから教会の主な役割について教えてもらいました。主な役割は 2 つあります。1 つ目はキリスト教の方が神へ祈りを捧げるための場所、2 つ目は人々のコミュニケーションの場となることです。そのため礼拝が始まる前には、自分の座っている椅子の周りの方々と握手をする時間がある教会が多いようです。この日訪れた教会でも、礼拝の前に周りの方々と握手をする時間がありました。私はキリスト教徒ではないのですが、人と繋がることで特別で暖かいエネルギーが身の内から湧き出てくる感覚を覚えます。

そして教会を後にし、私の暮らしているフィンドレーに帰るため Michael 君のご両親にお別れの挨拶をしました。この時には Michael 君のお母さんに対して初日に取ってしまった残念な行動ではなく、感謝の気持ちを素直に伝えることが出来ました。Michael 君のお母さんも「焼きそばがとっても美味しかったから、自分でも作ってみるわ。ありがとう。」と言葉を頂き、焼きそばを作ったと感じました。Michael 君のお父さんにも警察署を見学という貴重な経験をさせてもらった事に対して感謝の気持ちを伝えました。そして Michael 君にフィンドレーまで送ってもらい、私は Thanksgiving の間にアメリカ人の友人宅でホームステイをさせてもらうという素晴らしい経験をしました。

しかし Thanksgiving の次の日、容赦のない高熱が私を襲ってきました。恥ずかしい話ですが、私は英語漬けの日々から解放されて「今日は英語を使わなくていいんだ」と安堵したのです。その結果、風邪を引いてしまいました。とても動ける状態ではなく、一日中寝込んでしまいました。せっかくの長期休暇だったのですが、最終日に熱を出してしまい後味の悪い締め括りとなりました。

## 「夜の底」

我々は現在インターンシップで3つの課題に取り組んでいます。1つ目はこれまで取り組んできた、「マシニングセンタが1つの部品を加工するのに要する時間の計測」です。2つ目は「マシニングセンタが1つの部品を加工するプロセスの概要作り」です。そして3つ目は「三次元測定機を用いた加工済み部品の精度検査」です。

2つ目の取り組みである「マシニングセンタが1つの部品を加工するプロセスの概要作り」には、これまでサイクルタイムを計測するために記録してきたマシニングセンタの加工映像を用います。その映像を確認しながらマシニングセンタが部品を加工するために用いる数多くの加工プロセスについて、①プロセス名 ②加工する場所・手順 ③要する時間 ④使用道具名を



一覧表にまとめていくことが、2つ目の取り組みです。エンジニアの方々はこの一覧表のことをプロセスサマリーと呼んでいます。

11月は工場の中にある50台近くのマシニングセンタの中から、1台だけプロセスサマリーを作ることが出来ました。私は、上司の Brianさんと技術アドバイザーである Andyさんと Michaelさんと4人で話し合い、プロセスサマリーを作らなければいけないマシニングセンタを決めました。そのマシニングセンタは、あるAという部品を加工しているマシニングセンタの中の1つの機械です。同等の部品Aを加工しているマシニングセンタは複数あるのですが、とりわけその1台だけ部品のサイクルタイムが遅いことを彼らから伝えられました。我々はその原因を確かめるため、このマシニングセンタのプロセスサマリーを作りました。今後はこのマシニングセンタのサイクルタイムの遅延を探るため、部品Aを加工している他のマシニングセンタのプロセスサマリーも作る予定です。



3つ目の取り組みは「三次元測定機を用いた加工済み部品の精度検査」です。11月の下旬、エンジニアである Joshさんからこの三次元測定機について紹介を受けました。我々の工場では、車のブレーキ部品を納品するために4つの

プロセスを辿ります。1つ目は部品の鋳造、2つ目は部品の切削、3つ目は部品の組み立て、そして4つ目に輸送というプロセスです。我々は2つ目の切削部門で働いています。部品を指定されている形に削り終わった後、正確な数値に加工できたかどうか検査しなければいけません。その際に用いるのが三次元測定機です。この機械はプローブガンと呼ばれる部品の大きさを測るためのセンタが付いている道具を使います。このプローブガンは縦方向、横方向、高さ方向の三軸の指定が無いので、自由な角度で部品にセンサを接触させることが出来ます。

しかしながら我々はまだ、この機械の扱い方を理解出来ていません。そのためこの取り組みは、現在抱えているプロジェクトの進行具合を考慮して取り組もうと考えています。

アメリカでの生活も徐々に慣れ、地に足が着いた行動がとれるようになってきたと考えていたのですが、Thanksgiving 直前に会社のロッカー一室にて悪夢の出来事が身に降りかかってきました。

私たちは仕事を行う際には会社の作業着に着替えて仕事をしています。そのため社員の一人一人にロッカーが与えられています。11月21日、私は普段の仕事を終え帰宅しました。そして翌日の Thanksgiving の長期休暇に備えるため、幾つかの書類の整理するために USB メモリーを筆箱から取り出そうと考えたのです。しかし筆箱の中に USB メモリーはなく、鞆の中や会社の作業着の中も念入りに探したのですが見当たりませんでした。その日を振り返ると、会社のロッカー前の椅子に USB メモリーを置いてしまった事を思い出しました。私は翌日から Michael 君の家にホームステイする予定だったので、USB メモリーを会社に取りに行くチャンスは、忘れてきたことに気が付いた今か、Thanksgiving 後でした。Thanksgiving 後は絶対に回収できないと考えたため、すぐに USB メモリーを取りに会社に戻ろうと考えたのです。車を使おうと考えたのですが、同奨学生である浅海さんが車を使い長期休暇に出かけてしまっていました。「USB メモリーを会社に置き忘れたことに自宅で気が付いたが、会社に戻るための車は無い」という状況でした。

会社に戻るか悩んだのですが、どうしても USB メモリーを発見しなかったのので歩いて会社に行くことにしました。自宅から会社までは約 5km です。自宅を出発した時間は 18 時半で、既に辺りは真っ暗でした。更に 11 月の下旬だったため気温も下がっていましたが、必死の思いで会社を目指しました。しかし、私は夜のアメリカを甘く考えていたのです。私が暮らしているフィンドレーの道路は日本とは異なり、街灯がほとんどありません。そのため、私が会社に向かい始めた時には既に辺りに光が無く、携帯電話の懐中電灯機能を使って道を

照らさなければいけない状態でした。また、フィンドレーは車が無ければ生活できない環境です。そのため車に乗っている現地の方は、夜に人が道路を歩いていると考えないためか運転が荒く、私は会社にたどり着くまでに 2 回、車に轢かれそうになりました。更に道中で大雨が降ってきました。私は急いで出発したために傘は持ってきておらず、結果としてずぶ濡れになりながら歩きました。この時は「もし USB メモリーが無かったら一体どうしてやろうか」と思いましたが、置き忘れたのは誰のせいでもない私自身であるため、自分を呪いました。そしてやっとの思いで会社にたどり着きました。

真っ先にロッカー前の椅子に向かったのですが、USB メモリーはどこにも見当たりませんでした。何度探しても見つからず、自分のロッカーの中、普段使用しているデスクの中やパソコンも確認したのですが、どこにも見当たりませんでした。そんな現実を認めたくなかったため、会社を一度出て、再度会社の入口から入り直し、ロッカー前の椅子を確認したのですが、ありませんでした……。

重い足取りで会社を後にし、帰宅しました。その道中でもう一度、車に轢かれそうになりました。真っ暗で視界が鮮明ではなかったため、木の枝に目の下あたりをぶつけてしまい、危うく目を怪我してしまうところでした。

自宅から会社まで往復 2 時間程かけて雨降る中で約 10km 歩き、3 回車に轢かれそうになり、危うく目を怪我してしまいそうになった先に待っていたのは、悪夢「USB メモリーはどこにもない」ということでした。私は今回の件で、アメリカで物を失くしたら二度と戻ってこないことと、夜の道は歩かない方が自分の寿命を少し伸ばせることがわかりました。